

運搬用ドローン見学会の概要（R6）

■ 見学会の目的

近年、人工造林は、コンテナ苗や獣害防護資材等の資材運搬に多くの労力を要するようになっており、運搬用ドローンの活用による労力の軽減が期待されている。運搬用ドローンはこれまでも各社から発売されているが、今年から日本でも販売が始まったDJI社製FlyCart30は、30kgの荷物を最大16km運搬するなどの性能を有しており、林業分野における活用も期待される場所である。この度、株式会社ROBOZがFlyCart30を購入したことから、同社の協力を得て、見学会を開催することとしました。

■ 見学会の概要

①開催日：令和6年4月23日（火）10:30～11:30

会場：ドローンミュージアム&パークみの（美濃市曾代）

参加者：林業事業体、中部森林管理局、県職員他 44名

②開催日：令和6年5月29日（水）13:30～15:00

会場：下呂市馬瀬 川上国有林

参加者：林業事業体、中部森林管理局、県職員他 28名

● FlyCart30の概要

- 重量：65kg（バッテリー2個搭載時）
- 寸法：2,800×3,085×947mm（プロペラ展開時、長さ×幅×高さ）
- 最大積載量：30kg（バッテリー2個搭載時）
- 最大飛行距離：16km（バッテリー2個、30kg搭載時）
- 最大飛行時間：18分（ // ）

● 見学会の内容

- FlyCart30のデモ飛行
- 荷物の吊り上げ、おろしデモ

見学会の成果

- 運搬用ドローンの性能を認識していただいた。

■ 今後の課題

- 導入費用が高価
（本体、バッテリー、ウインチ、保険等で700万円（2025年4月時点））

■ 今後の対応

- 森林技術者の労働負荷低減の一つとして活用推進を図る

- ■ 見学会のようす

4月23日



5月29日

